


平和の像「若葉」（湯川秀樹歌碑）

〔地図番号32〕

| | | |
|---|---|--|
| 建立年月日 1966（昭和41）年5月9日 | |  |
| 建立者 広島南ロータリークラブ | 制作者 <small>えんつば かつぞう</small> 圓鏝 勝三 （彫刻家） | |
| 形状 少女を見上げている小鹿に少女が左手をさしのべ、今にも駆け出しそうな姿で立っている。 （歌碑（台座）の上、高さ1.8mのブロンズ像） | | |
| 建立の目的 広島南ロータリークラブ創立10周年を記念して建立された。 | | |
| 銘文 「まがつびよ ふたたびここに くるなかれ 平和をいのる 人のみぞここは」（湯川秀樹） | | |
| 特記事項 <ol style="list-style-type: none"> 「まがつび」 「禍つ日の神」の略で、災害・凶事を起こす神。イザナギノミコトがお祓いの時、污垢から化成した神。（広辞苑） 湯川秀樹博士 「中間子理論」を確立した日本初のノーベル賞（物理学賞）受賞者。1954（昭和29）年アメリカの水爆実験に衝撃を受け、以後、世界科学者会議（パグウォッシュ会議）を開催するなど核兵器と戦争の廃絶を訴え続けました。 「私は、真理の探求ということ誇りに思うし、自信を持っているし、私は一生それを貫いてきた。何の悔いもない。けれど、8月6日のあの事件を聞いたときに、科学者は科学者としての自分に対する責任があることを知った。」（湯川秀樹） 圓鏝勝三 広島県御調町生まれの彫刻家。「若葉」のほか、「動員学徒慰霊塔」、「友情」など、多くの平和モニュメントを制作しています。 | | |